

生活習慣病を一時金でサポート 「7大疾病一時金特約」発売

朝日生命保険相互会社（社長：木村 博紀）は、**2019年10月2日**より、所定の生活習慣病を一時金で保障する「**7大疾病一時金特約**」（正式名称：**無配当7大疾病一時金特約（医療保険）（返戻金なし型）**）を発売いたします。

当社では、2004年4月より「生活習慣病保険」を提供しており、累計販売件数215万件^{*1}と、ご好評をいただいています。一方で、生活習慣病の患者数は年々増加しており、2017年においては、20歳以上の延べ総患者数が約1,865万人となっています。また、生活習慣病や関連疾患は、医療費の約3割^{*2}、死因の約6割^{*2}を占めている状況です。

「7大疾病一時金特約」は、従来の「生活習慣病保険（返戻金なし型）」の「7大疾病給付金」が備えている“幅広い保障範囲”“早い段階でのお支払い”“何度でもお支払い”という3つの特長をバージョンアップすることで、生活習慣病の治療を一時金でさらに手厚くサポートします。また、介護が必要となった主な原因は、その約26%^{*3}が生活習慣病であることから、要介護状態への移行を予防することにもお役立ていただけます。

「7大疾病一時金特約」のポイント

「幅広い」保障範囲！

「**狭心症による所定の手術（カテーテル手術等）**」を新たに支払事由へ追加！

「早い」段階でのお支払い！

心臓病や脳血管疾患について、「**1日以上**の入院」でお支払いにバージョンアップ！

※60日の労働制限や神経学的後遺症といった要件を廃止

慢性腎臓病等について、手術に加えて「**所定の診断**」でお支払い！

「何度でも」お支払い！

複数回支払いについて、2年に1回の制限を「**1年に1回**」にバージョンアップ！

※ 支払事由の詳細はP5をご参照ください。

当社では「一人ひとりの“生きる”を支える」という企業ビジョンを掲げ、様々な商品やサービスの開発・提供に取り組んでおります。今回発売する「7大疾病一時金特約」もその一つです。サービス面においては、9月27日よりヘルスケアエンターテインメントアプリ「kencom×ほけん（けんこむほけん）」^{*}を提供し、お客様の健康増進をサポートする取組みも推進してまいります。

※ 概要はP6をご参照ください。

今後も、企業ビジョン「一人ひとりの“生きる”を支える」の実現に向け、様々な商品やサービスを開発・提供してまいります。

※1 2019年3月末現在。「生活習慣病保険」「生活習慣病保険（返戻金なし型）」を合計

※2 厚生労働省「平成26年版厚生労働白書」

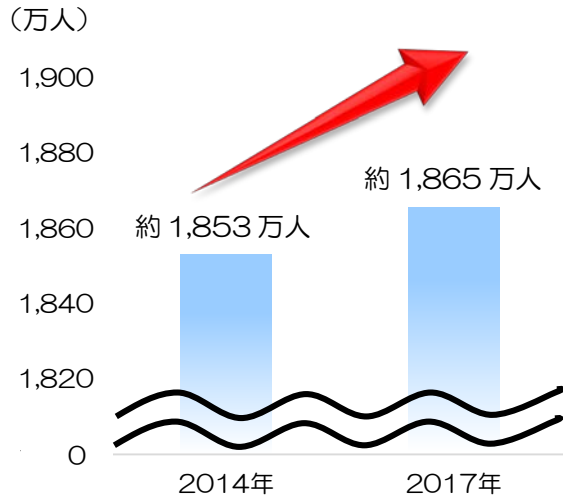
※3 厚生労働省「平成28年国民生活基礎調査」における脳血管疾患、心臓病、糖尿病、がんの割合の合計

Ⅰ. 生活習慣病をとりまく環境

生活習慣病の患者数について

生活習慣病の20歳以上の患者数は2014年から2017年にかけて約12万人増加しており、とりわけ高血圧性疾患と糖尿病の患者数が多い状況です。

【生活習慣病の患者数（20歳以上）】



厚生労働省「平成 26・29 年 患者調査」

【生活習慣病の疾病別患者数(20歳以上)】

がん	176.8 万人
心臓病	173.6 万人
脳血管疾患	111.4 万人
腎臓病	46.3 万人
肝臓病	24.8 万人
糖尿病	329.8 万人
高血圧性疾患	1,002.8 万人

延べ総患者数 **約 1,865.5 万人**

厚生労働省「平成 29 年 患者調査」

(注) 複数の疾病に発症している場合、延べ総患者数は重複カウント。

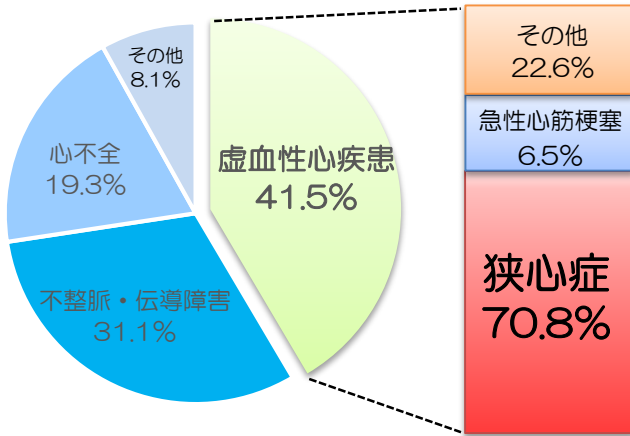
7大疾病一時金特約は「がん、心臓病、脳血管疾患、腎臓病、肝臓病、糖尿病、高血圧性疾患」といった7つの生活習慣病を一時金で保障します！

II. 「7大疾病一時金特約」のポイントの具体例

1. 狭心症(虚血性心疾患)について

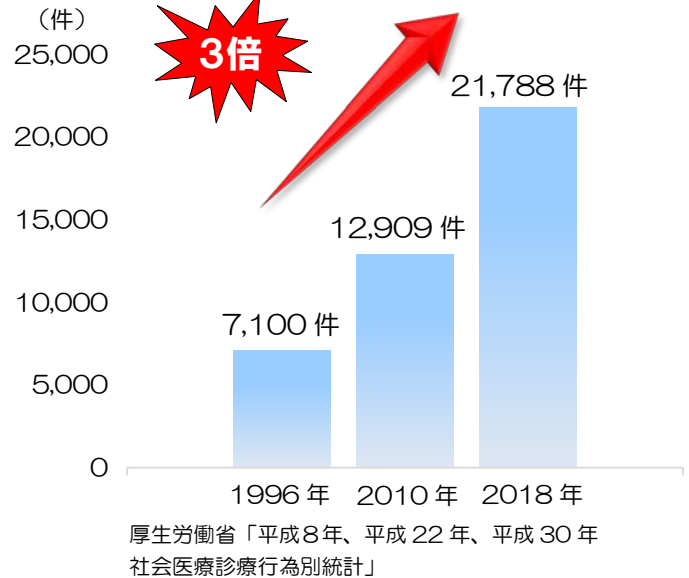
心臓病の約4割が虚血性心疾患ですが、虚血性心疾患の総患者数のうち約7割が狭心症と、虚血性心疾患で最も高い割合です。また、狭心症を含めた虚血性心疾患の手術件数は1996年から2018年にかけて約3倍に増えています。

【心臓病における虚血性心疾患の割合】



厚生労働省「平成29年患者調査」より当社試算

【虚血性心疾患の手術件数】



厚生労働省「平成8年、平成22年、平成30年社会医療診療行為別統計」

幅広い保障範囲

7大疾病一時金特約は、増加傾向にある「狭心症による所定の手術」を保障します！

2. 慢性腎臓病のステージについて

慢性腎臓病は腎臓の働きの程度によって5つのステージに分けられます。ステージ4は機能の回復は困難であるものの、ステージ5に進行しないための治療が必要な段階です。

【慢性腎臓病のステージの特徴】

ステージ	特徴		
軽度	1・2	早期発見で回復の余地あり	
↑ ↓	3	専門医による本格的な治療が必要	
	4	現状維持が治療目標	拡大した保障範囲
	重度	5	腎代替療法（人工透析や腎移植）が必要

早い段階でお支払い

7大疾病一時金特約は、慢性腎臓病のステージ4の段階から保障します！

3. がんについて

全てのがんを対象とした平均治療期間は28.1か月と長期間にわたるため、経済的負担が大きくなります。加えて、がんは再発・転移するケースもあるため、治療期間がさらに長期化することもあります。

【がん治療の平均期間】



(株)JMDC「医療報酬明細書データ(2005年~2013年)」より当社試算 ※経過観察・入院前の通院を含む

何
度
で
も
お
支
払
い

7大疾病一時金特約では、「1年に1回」を限度に何度でもお支払いすることで、長期化するがんの治療を手厚くサポートします！

(注) 疾病によっては1回の支払いとなります。また、複数回支払いには所定の要件があります。

Ⅲ. 「7大疾病一時金特約」の商品概要

1. 支払事由等

		支払事由等
7大疾病 一時金	がん	がんと診断確定されたとき
	心臓病	○急性心筋梗塞により入院をしたとき、または所定の手術を受けたとき ○拡張型心筋症により入院をしたとき、または所定の手術を受けたとき ○狭心症により所定の手術を受けたとき
	脳血管 疾患	○脳卒中により入院をしたとき、または所定の手術を受けたとき ○脳動脈瘤が破裂したと診断されたとき、または脳動脈瘤で所定の手術を受けたとき
	腎臓病	○所定の慢性腎臓病と診断されたとき ○慢性腎不全により腎移植手術を受けたとき
	肝臓病	○肝硬変と診断されたとき ○肝硬変による食道・胃静脈瘤が破裂したと診断されたとき、または肝硬変による食道・胃静脈瘤で所定の手術を受けたとき ○肝硬変により肝移植手術を受けたとき
	糖尿病	○糖尿病性網膜症と診断されたとき ○糖尿病による糖尿病性網膜症または糖尿病性壊疽 ^{えそ} により所定の手術を受けたとき
	高血圧性 疾患	○高血圧性疾患による（解離性）大動脈瘤と診断されたとき ○高血圧性疾患による（解離性）大動脈瘤が破裂したと診断されたとき、または高血圧性疾患による（解離性）大動脈瘤で所定の手術を受けたとき
支払限度	複数回支払（1年に1回）	

※「所定の慢性腎臓病」はステージ4またはステージ5をいいます。

※7大疾病一時金を複数回お支払いするときは、その原因が新たに生じていることが要件となります。ただし、7大疾病一時金が支払われた最終の支払事由該当日からその日を含めて1年以内に支払事由に該当したときは、お支払いしません。なお、拡張型心筋症や慢性腎臓病・肝硬変・糖尿病性網膜症・（解離性）大動脈瘤と診断されたことによるお支払いはそれぞれ1回限りとなります。

※7大疾病一時金の支払事由となる「入院」は1日以上入院です。（日帰り入院（0泊1日）を含みます。）

※日帰り入院（0泊1日）とは、入院日と退院日が同一の日であり、かつ、入院基本料の支払いがある場合などをいいます。

※がんを原因とする給付の責任開始の時は、特約の保険期間開始の日からその日を含めて90日を経過した日の翌日です。

2. 保険料例

7大疾病一時金額 100 万円、月払口座・クレジットカード料率

保険期間 ・ 保険料払込期間 契約年齢	男性		女性	
	10年	終身（終身払）	10年	終身（終身払）
20歳	380円	1,900円	550円	1,790円
30歳	580円	2,790円	1,060円	2,490円
40歳	1,210円	4,190円	1,850円	3,340円
50歳	2,500円	6,280円	2,750円	4,280円
60歳	5,850円	9,440円	3,860円	5,390円
70歳	10,220円	13,310円	5,560円	6,740円

3. 契約年齢範囲、保険期間・保険料払込期間、取扱金額

契約年齢範囲	15～79 歳
保険期間 ・ 保険料払込期間	主契約と同一
取扱金額	20 万円～1,000 万円 （5万円単位）

4. 付加対象契約

「生活習慣病保険（返戻金なし型）」「医療保険（返戻金なし型）（2010）」「医療保険L（返戻金なし型）（2011）」
 ※特約の付加には、所定の要件があります。

ヘルスケアエンターテインメントアプリ「kencom×ほけん(けんこむほけん)」

「kencom×ほけん(けんこむほけん)」は、健康増進に役立つ情報配信や日々の歩数の自動記録のほか、ゲームの要素を取り入れたプログラムなどの機能を備え、お客様が日常生活で楽しみながら気軽に健康増進活動に取り組んでいただくことができるスマートフォン用のアプリです。

具体的には、「健康管理機能」「健康情報提供」「ポイントプログラム」「行動変容サービス」などの提供により、お客様の健康増進をサポートします。

※詳細は、[8月29日プレスリリース](#)（下記アドレスまたは2次元コード）をご参照ください。

（アドレス）

<https://www.asahi-life.co.jp/company/pressrelease/20190829.pdf>

（2次元コード）



このニュースリリースは、保険商品の概要を説明したものであり、保険募集を目的としたものではありません。なお、加入にあたっては所定の要件があります。詳細につきましては、「商品パンフレット」「ご契約のしおり-定款・約款」をご覧ください。